

# なごや通信

第三十二号 平成二十四年四月  
日本会議 名古屋支部 事務局  
052-763-4588

## 天皇皇后両陛下、東日本大震災追悼式御臨席

天皇陛下におかせられましては、三月十一日政府主催東日本大震災一周忌追悼式に皇后陛下と御臨席遊ばされ追悼の祈りとお言葉述べられました。ご回復万全でない御身を顧みず国家国民の安寧を祈り続ける陛下の大御心に心からの感謝の誠を捧げます。ありがたく厚く御礼申します。

## 意見表明・河村市長発言を支持する！

名古屋市の河村市長は、去る二月二十日、名古屋市を表敬訪問した南京市の共産党常務委員らに一九三七年の南京事件について「通常の戦闘行為はあつて残念だが、南京事件というのはなかったのではないかと発言した。河村市長は旧日本兵だった父親が南京で四十五年の終戦を迎え「温かいもてなしを受けた」と話していたことを明かし「八年の間に、もし、そんなことがあつたら、南京の人がなんでそんなに日本の軍隊に優しくしてくれたのか理解できない」などと述べた。さらに「真実を明らかにしないと、とげが刺さっているようなものでうまくいかない。一度、討論会を南京で開いてほしい」と求めた。これに南京市からは一時交流停止の通告を名古屋市に送りつけるなど、発言を撤回せよとの抗議があつた。また、盟友とさえ言われていた大村愛知県知事からも批判的なコメントが発表されるなど、河村市長発言は一時的ではあつたが、劣勢に立たされた。しかし、心ある市民からは市長室に「当然のことだ」、「よく言ってくれた」、「持論を曲げないでほしい」などの激励の声が、連日寄せられた。幸いにして、本日まで河村市長におかれては、「謝罪も撤回もしない」と首尾一貫した態度で悠然としておられることに、心より敬意を表する次第である。今後は名古屋市議会を中心にこの議論を深めて行く、勉強会が立ち上がるかと仄聞している。この問題は、いち名古屋市だけの問題ではない。日本全体の問題である。南京大虐殺の汚名を雪ぐ絶好の機会を得た。今後、名古屋よりこのことを全国に発信していく所存である。

(文責・日本会議愛知県本部事務局長 服部守孝)

## 報告・連続フォーラム

第一回連続フォーラム(二月十九日)で、西田昌司参議院議員を、第二回(三月四日)で、チャンネル桜の水島総氏、大高未貴女史、三輪和夫氏(日本世論の会)を講師に迎え盛大に開催されました。今こそ、真正保守政権を目指して保守団体が力を合わせる時です。この模様はユーチューブに配信しておりますので是非ご覧下さい。

## ご案内・安倍晋三・青山繁春大講演会

テーマ・「真正保守政権を構想する」  
日時・四月二日(月)午後六時開場・六時三十分開会〜九時閉会  
会場・中京大学文化市民会館・プルニエホール  
金山総合駅から北へ徒歩五分 電話052-953-5111  
会費・前売り千五百円、当日二千円 売行き快調、残席僅かです！

## ご案内・日本会議春日井支部発会式

日時・四月八日(日)午後十三時開場・十三時三十分開会〜四時閉会  
会場・ルネック・七階多目的ホールJR勝川駅北口徒歩一分  
会費・千円(当日申し受けます)できれば事前に出席連絡下さい。

## ご案内・第十五回愛知竹田研究会

テーマ・前半「四月の御題」、後半「古事記を読もう」  
日時・四月十五日(日)午後四時半開場・五時開会〜七時半閉会  
会費・二千円(初参加者と学生は無料)事前申し込みが必要  
懇親会・四千五百円(希望者のみ、竹田恒泰先生と親しく懇談できます)

## ご案内・沖縄県祖国復帰四十周年記念旅行会

日本会議沖縄県本部が事務局となり五月十二日に記念式典を、翌十三日に平和祈念堂にて戦没者顕彰祭を開催します。愛知県本部では、両行事に参加する為の旅行会を企画しました。日本の息吹今月号にチラシが同封してございますので、是非ともご参加下さいようお願い申し上げます。

## ●愛知県護国神社清掃奉仕予定

四月一日午前八時開始、九時終了。五月六日、六月三日を予定しております。護国神社は一年で最も美しい桜の季節を迎えます。境内清掃の後、ご一緒に観桜お茶会を致します。どなたでも参加頂けますので、お越し下さいませ。現場責任者・南部(090-2773-0688)

## ●「日本の息吹」を引き続き「継続下さいますようお願いいたします。」